

# 農繁期

## レポート

令和4年 8月号

### ニールファーム

オーナー	株式会社新流
水田面積	5.6アール
保証量	玄米252kg
形態品種	特別栽培コシヒカリ



### 生産者 ツライフ農園:北出茂樹さん

田植えから約120日経過しそろそろ稲刈りの時期到来です。しかし8月に入って各地で大雨。伊賀もかなり強い雨が降り、例年にない倒伏が近隣でも多く、私の圃場も例外ではありません。雨が降ったことで圃場の中の雑草も育ってしまい、稲が雑草に負けたところもあります。全て天候が影響していると思われます。何はともあれ順調に育った稲を刈り入れて、皆さんと一緒に楽しみたいと思っています。

#### 8月の作業内容と稲の生長

##### 1.出穂 (しゅっすい)

茎の中で籾の集合体としてできた「穂」がさやを割って飛び出した状態を出穂と言います。最初は真っすぐピンと上に伸びています。その後すぐに花が咲き、受粉した籾がお米へと徐々に変化していきます。

##### 2.出穂後の稲-1

出穂後の晴天がお米を作ります。日中に葉で光合成が行われ、出来たブドウ糖が夜稲に送り込まれデンプン=米になります。山間部は昼夜の寒暖差が大きく夜の気温が低いのでデンプンが消費されず蓄積して美味しくなります。

##### 3.出穂後の稲-2

デンプンは最初ドロドロとしたミルク状の液体で徐々に固まっていきお米になります。固まると重たくなって穂が垂れ下がり、同時に籾の色も黄金色に変化します。よく言われているのは穂が出てから1000度が刈取り適期です。

##### 4.カメムシ防除

穂が出揃う時にカメムシ防除を行います。畦付近の草から田んぼに侵入し、奥まで飛ぶことは少ないので周辺を重点的に対応します。カメムシを放置するとお米の品質や見栄えが悪く、商品にならなくなるので必須作業です。



出典:JAグループ

